

ろ過材回収ロボット

現場の現状

- ・ 閉鎖空間での最大8時間作業
- ・ 熱中症,脱水症状,酸素欠乏,
一酸化炭素中毒
- ・ 高所作業,体への負担が大きい

問題点

- ・ 防水対策
- ・ 油対策
- ・ リモコンの改良
- ・ ロボットのホース取り付け部分
- ・ キャタピラへの砂利の巻き込み

ロボットのプロトタイプの作成



6 輪車であることで走行時、安定しやすい
ホースの角度調節可能
カメラがロボット前方についている

リモコンのプロトタイプの作成



ロボットの専用コントローラー
軽量化するためにゲームコントローラーを参考になっている

ロボットの動作

